

赤潮情報第51号 (八代海：シャットネラ属 警報続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部

八代海でシャットネラ赤潮が発生しています。

本日、熊本県と天草市水産研究センターが八代海を調査したところ、シャットネラ属が海水1mL当たり最高21,000細胞(八代港内港)で確認されました(詳細は下図を参照して下さい)。

本種は極めて有害で、海水が着色しない程度の細胞数でも魚介類がへい死することがあり、目視で確認出来ない中底層域で赤潮化している場合もあります。

周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、餌止め等の対策を行うとともに、海の色の変化や飼育生物の状態に十分注意してください。

また、漁港内等に一時保管している漁獲物についても、早期出荷等の対策を講じてください。

さらに、コクロディニウム ポリクリコイデスも注意報基準(海水1mL当たり100細胞)以下ですが、八代市八千把で40細胞、八代港内港で24細胞確認されていますので、併せて注意して下さい。

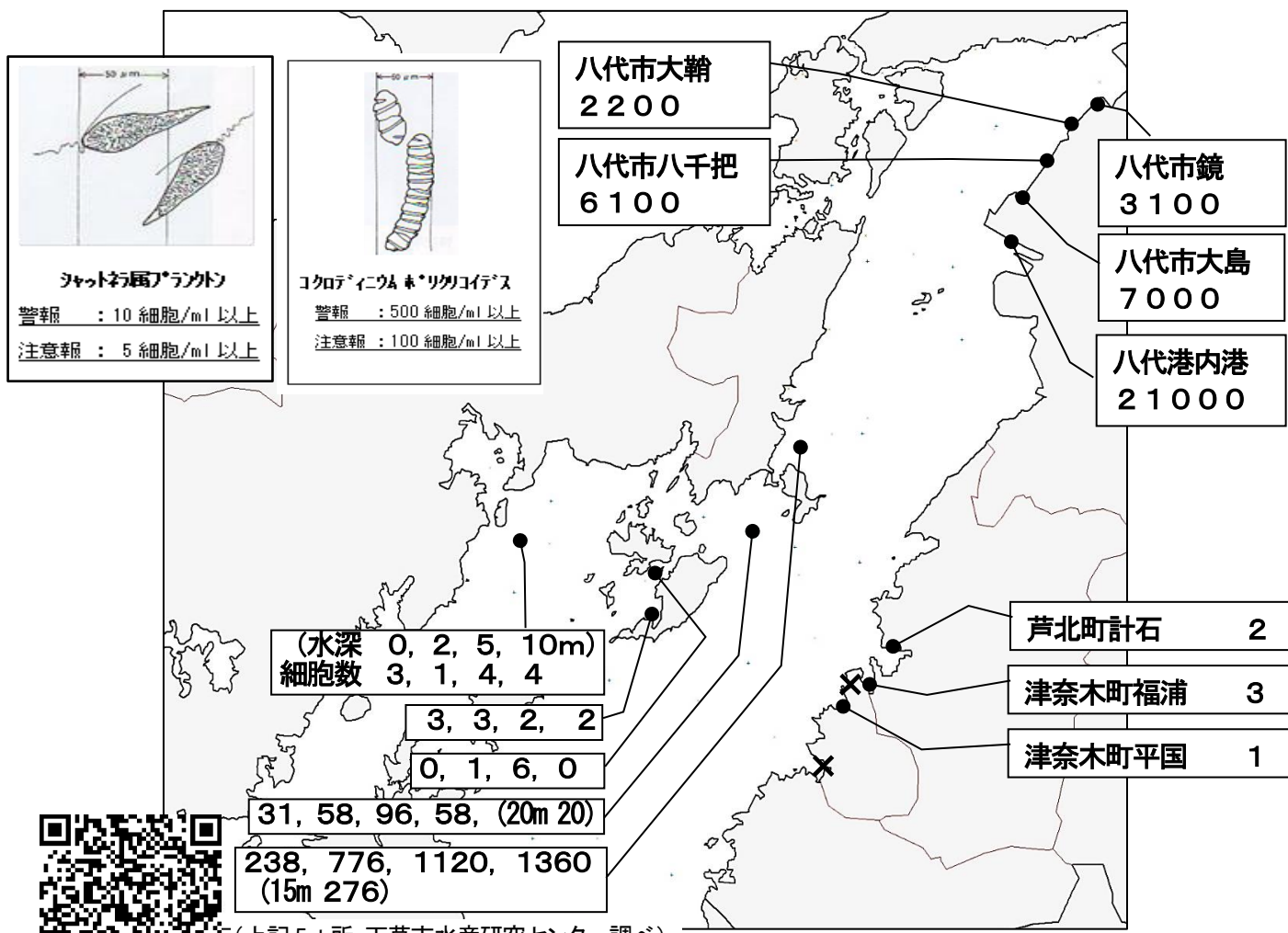


図 調査定点

- ・ 図中の数字は、シャットネラ属の表層の海水1mL当たりの細胞数です。
- ・ ×印 : 0細胞

